

## 別紙

### 温室効果ガス削減計画

#### 1 事業の概要

##### (1) 事業所の名称

チチヤス株式会社 本社工場

##### (2) 事業所の所在地

広島県廿日市市大野338-1

##### (3) 業種

0913 処理牛乳・乳飲料製造業

##### (4) 事業所位置図

別紙のとおり

#### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成19（2007）年度を基準年度とし、平成29（2017）年度から平成31（2019）年度までの3年間とする。

#### 3 計画の基本的な方向

##### 1. 基本的な考え方

当社は、環境の保全を経営の重要課題と位置付け、環境に配慮した事業活動に努め、環境への負荷の低減を推進する事により、持続可能な社会作りに貢献します。

特に、今日の環境問題の中でも、とりわけ重要視されている地球温暖化防止については、自らの事業活動のみならず、当社の製品を使用する消費者のことも考慮し、温室効果ガスの排出抑制に努めていきます。

##### 2. 方針

- ・省エネルギー、省資源の推進
- ・新エネルギーの導入促進
- ・環境にやさしい製品の供給
- ・廃棄物の排出抑制
- ・社員への環境教育の徹底

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度 平成19年度	直近年度 平成28年度
二酸化炭素	13,100	12,566

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度 平成19年度	直近年度 平成28年度
二酸化炭素	393	0

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度 平成19年度	直近年度 平成28年度
メタン	32	0.29
一酸化二窒素	70	3.42
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF <sub>6</sub> NF <sub>3</sub> )	—	—

## 5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>				
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>				
メタン				
一酸化二窒素				
その他 温室効果ガス				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： ヨーグルト換算値 (KL)

単位：排出量(t-CO<sub>2</sub>)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 19 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 31 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	13,100	45,405	0.2885	-12.4	12,000	37,000	0.3243
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	393	45,405	0.0087	100.0	-	-	-
メタン	32	45,405	0.0007	98.9	0.28	37,000	0.0000
一酸化二窒素	70	45,405	0.0015	94.0	3.33	37,000	0.0001
その他 温室効果ガス	-	-	-	-	-	-	-
総排出量	13,595	45,405	0.2994	-8.4	12,004	37,000	0.3244
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	5,446	45,405	0.1199	-5.9	4,700	37,000	0.1270
目標設定の考え方	生産数量の増加が見込めないため、現状維持に努める。						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

## 6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	重油の使用量を1%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自家発電装置の停止</li> <li>・高効率ボイラーへ更新</li> <li>・生産ラインの合理化</li> </ul>
2	電気使用量の削減	電気の使用量を1%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ型電気機器への更新</li> <li>・高効率照明への更新</li> <li>・高性能インバーター機器への更新</li> <li>・冷却設備の断熱強化</li> <li>・生産ラインの合理化</li> </ul>
3	廃棄物排出量の削減	廃棄物の排出量を5%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・容器リサイクル法の推進による食品残渣の軽減</li> <li>・廃棄物のリサイクル</li> <li>・生産工程の歩留まり向上</li> </ul>
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

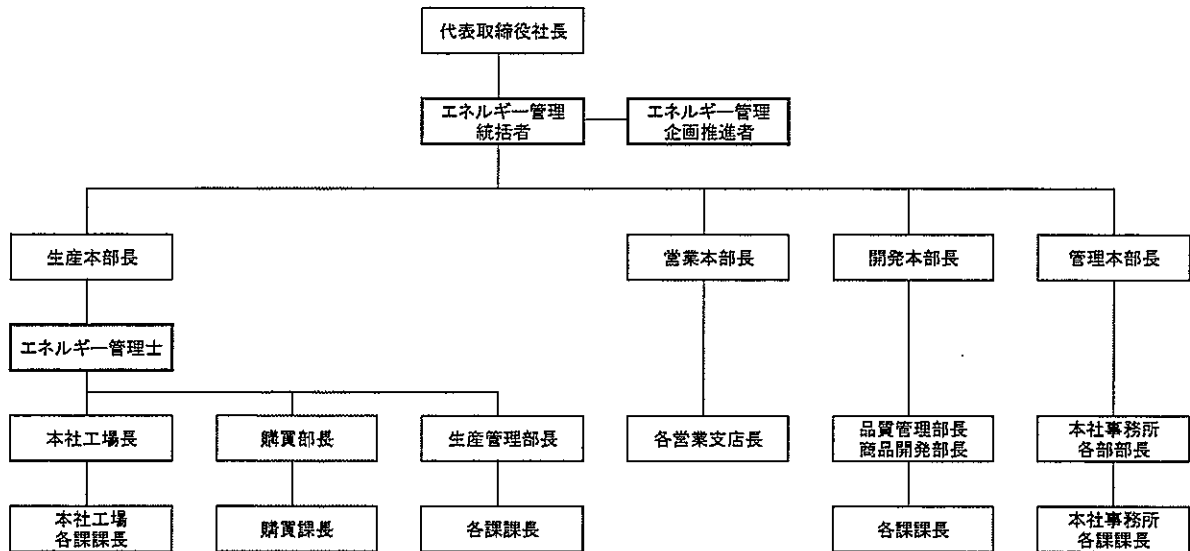
### ○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	再生紙の導入	使用量の60%を再生紙使用	名刺用紙を牛乳パック再生紙使用 コピー用紙を再生紙使用
2	その他		チームマイナス6%への参加
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制



### (2) 実施状況の点検・評価

エネルギー管理士を中心として、毎年温室効果ガス削減計画書の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い必要に応じて会議を開き、評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。

### (3) 計画書等の公表

当社の本社事務所受付において要項が記載されているパンフレットを置き、自由に閲覧できるようにする。